

### 3 報告・確認事項

#### (1) 西東京市居住支援協議会委員の変更について

社名変更、代表者変更、人事異動等により変更が生じていますので、**別紙 2-1**をご確認ください。

#### (2) 居住支援普及啓発について

ア 居住支援セミナーについて、令和 3 年 10 月 22 日(金)、田無第二庁舎において開催しました。

当日は、不動産関係者を中心に計 17 人のご参加をいただきました。

参加された方から、市からもっと賃貸人に歩み寄るべきとのご意見をいただきましたので、今後、新型コロナウイルス感染症の様子をみながら、不動産関係団体の勉強会等に参加させていただき、関係性を築いていきたいと考えています。

イ 令和 2 年度に本協議会からご提案いただいた居住支援の取組を紹介する普及啓発動画を現在制作中です。完成次第、委員の皆様にもご覧いただく予定です。

なお、一般公開は、令和 4 年 3 月頃から市公式 YouTube 等で積極的に配信していく予定ですが、不動産店の方から、家主さんに対して市の取組みをお知らせいただけると助かります。

#### (3) 令和 3 年度住宅探しの状況等について

詳細は**別紙 2-2**をご確認ください。

##### 【世帯別の状況】

##### 高齢者世帯

- ・高齢者世帯は 70 代・80 代の単身世帯が大半を占める。
- ・同居親族との関係性が悪化し、高齢者が出ていくことを考えている。
- ・最後の住み替えになると考え、何回内見しても、もっといい物件が出てくるかもしれないと考え、決まらない人がいる。
- ・都営住宅を第 1 希望とする人が多い。

##### 障害者世帯

- ・生活福祉課や障害者支援施設からの案内によるが精神障害 2 級（やや重い）の方が多い。
- ・キャンセルされた方も都営住宅への入居が決定したり、ご自分で契約できた方がいる。
- ・契約決定率の高さは、ささえる手が入居可能な物件を探してくるため。

## 子育て世帯

- ・申請件数は昨年同様少ない。
- ・相談内容は、今後、離婚を考えていて、住まいや収入面での不安が大きく、公的な賃貸住宅に入れるか、家賃の安いところに入れるかなど、ひとり親になった時のことを考えて事前に情報収集する目的でくる方もいる。
- ・ひとり親世帯で、新型コロナの影響で収入が減り、更新料が払えず放置したことによって退去させられる世帯には、東京チャレンジネットや緊急小口資金など福祉丸ごと相談窓口との連携により対応した。

## その他世帯（生活困窮世帯）

- ・新型コロナによる失職や収入減による相談が多い。(6件)
- ・キャンセルの中には、宿泊所入所、自立準備ホーム入所があり、携帯電話を持つことが難しい人がある。(2件)
- ・住宅を探す中で、家賃の高さから都営住宅への申請に切り替える人がある。(2件)